



愛川ふれあいの村の主催事業『親子で遊ぼうパン作り』を開催しました。当日は天候に恵まれ、過ごしやすい1日でした。14家族43名の参加者と、スペシャルトッピングに地元産のはちみつと卵を用意し、パンを手作りして美味しくいただきました！



まずは、野外炊事場で受付し1日の予定を説明。「美味しいパンをつくるためには班での協力が必要です！ゲームで心と体の緊張をほぐして仲良くなりましょう」ということで、動いたり笑ったり、班の中で自己紹介をすることで参加者同士の距離が縮まっています。

メニューは「遊ぼうパン」（棒巻きパン）と、「旬野菜のチャウダースープ」。スペシャルトッピングには地元の養蜂場で作っている純国産の「天然はちみつ」と、卵も地元産の初産み卵（鶏が初めて卵を産んで2週間以内という貴重な物）をマヨネーズで和えた「たまごサラダ」。子どもたちと一緒に生地づくりを楽しんでいました。





生地を天日で発酵させている間に、班の中で火係と食材係に分かれ、職員から火起こしと調理のレクチャーを受けます。大人も子どもも説明に興味津々。火係は炭に火をおこしたり、パンを焼く場所にドラム缶を運んで準備OK!。食材係はスープに入れる材料を子どもたちが中心となって切りました。みんな初めてとは思えないくらい楽しそうに調理していました。



たまごサラダはフォークで細かくしてマヨネーズを混ぜたら完成です。スープは食材係が切った材料を大きな鍋でグツグツ煮込んでいきます。手の空いた子どもたちは、発酵がまだかと何度も見に来ていました。発酵が終わったら、生地を棒に巻き付けていきます。太いまま巻き付けたり、細長くのばして巻いていたり、それぞれの形になりました。炭火でゆっくり焼いていると話も弾み、班全体がまるで1つの家族のように見えました。



パンとスープができれば、班ごとにいただきます。「焼きたてのパンが美味しい!」「スープが美味しい!」や「はちみつが美味しい!」「たまごサラダが美味しい!」と声上がりそれぞれに満足げな表情を見せていました。食べ終わると待っているのはお片づけ♪大人はもちろん、子どもたちも率先して片づけをしていました。片づけが終わった子どもたちは、広場でスタッフと一緒に遊びました。最後は参加者に今日の感想を体で表現してもらいます。みなさん両手バンザイポーズで満足していただきました。



今回のパン作りは班みんなの協力なしでは完成しなかったと思います。また、地元産の天然はちみつや初産み卵は、なかなか食べることができません。身近なところにも美味しいものがあるという気付きを与えてくれました。産地が近いということで、新鮮さを感じたり、旬の食材でこんなに美味しいものが作れるという食への関心をもっただけたのではないのでしょうか。今回は『親子で遊ぼうパン作り』にご参加いただき、ありがとうございました。また、愛川ふれあいの村でお会いできることを、心より楽しみにしております。・

【文責：渡部（ごらじ）】